



磨いた技で初の快挙

7/28 長野県消防ポンプ操法大会

火災発生時に備え、機器操作の迅速さや正確さなどを競う第61回長野県消防ポンプ操法大会に、市消防団第11分団が出場し、第2部小型ポンプ操法で長野県の頂点に立ちました。安曇野市の出場チームが県大会で優勝したのは初めて。本年度は全国大会が開催されないため、最高位で有終の美を飾りました。

また、同日第28回長野県消防ラッパ吹奏大会に出場した市消防団音楽喇叭隊は7位の成績を収めました。



「演じる」の第1歩を後押し

7/30 トランクシアター・プロジェクト 2019 演劇ワークショップ

10月4日(金)にあづみのコミュニケーションで上演する「月夜のファウスト」の関連イベントとして、演劇の基本を学ぶWSが行われました。参加者は指定された役柄などになりきり、演じることの基本や楽しさを学びました。初めて演劇を学んだ山崎綾音さんは「自分とは違う人やものの気持ちを考えて演じるのは難しかったが、演じることを楽しみながら学ぶことができた」と話してくれました。



7/27 あづみ野祭り



8/3 わさび祭り納涼祭

各地で恒例の夏祭り

あづみ野祭り、ふるさと夏祭り、わさび祭り納涼祭

市内各地で恒例の夏祭りが行われました。

7月28日、豊科では第40回あづみ野祭りが行われ、踊り連の掛け声が街中に響き渡りました。降雨のため、踊りと山車のコンテストは中止となりました。

8月3日には、穂高で第33回わさび祭り納涼祭、三郷で第31回ふるさと夏祭りが行われ、地域の幅広い世代が集い、地元の夏の夜を大いに楽しんでいました。



8/3 ふるさと夏祭り

水資源守る活動に大臣表彰

8/5 水資源功績者表彰受賞

国土交通省は、都内で国土交通大臣表彰「水資源功績者表彰」を開催し、安曇野市など3個人4団体を表彰しました。この表彰は、水資源の開発や保全に関わる表彰で、安曇野市は自治体で唯一、受賞しました。この受賞は市がこれまで地下水や水循環など水資源に関する調査研究を行い、地域住民、事業者と協働して水資源の保全に係る活動を長年にわたり実施してきた功績が認められたものです。これらの取り組みは「広報あづみの9月号(9月18日発行)」に掲載します。

【主な取り組み】

- H18 「安曇野市水資源対策協議会」設立
- H25 「安曇野市地下水の保全・涵養及び適正利用に関する条例」制定
- H27 「名水サミット in 安曇野」開催
- H28 環境省名水百選選抜総選挙「景観部門」、「観光地部門」全国第1位
- H29 「安曇野市水環境基本計画・行動計画」策定
- H30 「流域水循環計画」(内閣官房水循環政策本部事務局)認定(国の水循環基本計画を受けて新たに策定された計画として全国初認定)



男女平等な社会へ意識改革を

7/13 男女共同参画フォーラム 2019

安曇野市民でもある太田副知事を迎え、「あなたが創る安曇野の未来」をテーマに講演会が開かれました。太田副知事は男女平等を実現するための県の事業とSDGsの関係などを解説するとともに、「本当の意味で男女平等を実現するには、それぞれが男女に対する考え方を昔と変える必要がある」と述べました。講演会後には、パネルディスカッションが開かれ、市内事業所の取り組みなどが紹介されました。



クヌギ畑で淡緑色の宝探し

7/25 天蚕飼育ボランティアが蕨収穫初体験

市天蚕振興会では、穂高有明の特産である天蚕への関心を高め、担い手を増やそうと、飼育ボランティアによる天蚕蕨の収穫を行いました。当日は応募した3人のボランティアが参加。クヌギの葉に隠れるように作られた淡緑色の蕨を収穫しました。山形村から参加した務台歩さんは「隠れた蕨を探すのは宝探しのようだった。慣れてくるとうまく見つけられるようになり楽しかった」と充実した表情で話してくれました。

